

特定非営利活動法人NPOサポートちがさき

平成 30 年度(2018 年度) 事業報告

(平成 30 年 4 月 1 日より平成 31 年 3 月 31 日まで)

1. 市民活動を支援する施設の管理運営事業

内 容 施設管理及び市民活動推進のための事業、多様な主体による協働の仲介を行った。
日 時 平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月・通年
場 所 茅ヶ崎市民活動サポートセンター他
従事者人員 18 名
受益対象者 公益活動団体及び関心のある個人
支 出 額 26,242,912 円

2. コミュニティ形成を支援する事業

(1) まちスポ×さぼちが連携事業

内 容 茅ヶ崎南西部地区の新しいまちづくりの拠点においてエリアマネージメントをテーマに活動する「特定非営利活動法人まちづくりスポット茅ヶ崎」と連携、交流を進め、互いに情報交換を行うことにより相互の組織運営力及び信頼度を高める。
日 時 平成 30 年 6 月～平成 31 年 3 月・通年
場 所 まちづくりスポット茅ヶ崎、茅ヶ崎市民活動サポートセンター他
従事者人員 6 名
受益対象者 茅ヶ崎市南西部地区住民及び一般市民
支 出 額 230,302 円

(2) コミュニティ・コンシェルジュ

内 容 「ジオ茅ヶ崎フレシア」クリスマスイベントの実施
日 時 平成 30 年 12 月 24 日 (月・祝)
場 所 ジオ茅ヶ崎フレシア・マンションギャラリー他
従事者人員 2 名
受益対象者 茅ヶ崎市市区周辺で活動する市民活動団体及び一般市民
支 出 額 21,000 円

(3) 余暇支援ネットワーク

内 容 茅ヶ崎・寒川地区の障がいのある人々の余暇活動を地域で支援するネットワークメンバーとして人をつなぐ。
日 時 平成 30 年 4 月～11 月、10 月 21 日(土)
場 所 神奈川県立茅ヶ崎養護学校他
従事者人員 1 名
受益対象者 福祉関係者及び一般市民
支 出 額 10,000 円

3. 協働によるまちづくり推進事業

(1) 企業とNPOのマッチング

今年度は特に実施しなかった。

(2) 食から未来へ勉強会

内 容 [地域の野菜・果樹の力を知ろう] 地域農産品について基礎から勉強することを通じて新しいネットワーク及び人材の発掘を行った。

日 時 平成30年4月～平成31年3月

場 所 茅ヶ崎市民活動サポートセンター

従事者人員 4名

受益対象者 市内の企業、大学関係者及び一般市民

支 出 額 185,893円

(3) 商店街賑わい創出勉強会

内 容 現状に危機感を持つ店主を中心に、行政や企業にも参加を呼びかけ勉強会を開催することを通じて、関係者のネットワークづくりを推進した。

日 時 平成30年4月～平成31年3月

場 所 茅ヶ崎市民活動サポートセンター他

従事者人員 4名

受益対象者 市内の企業、大学関係者及び一般市民

支 出 額 38,908円

4. 市民活動に関する調査研究事業

実施しなかった。

5. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

実施しなかった。

1. 茅ヶ崎市民活動サポートセンターの管理運営とこれに付随する事業

総括

今期目標に掲げた運営3つの基本理念「情報発信の強化」「エンパワメント」「協働の実践」を意識した事業を実施する中で、今年度は特に、市民活動団体自身が更に発信力を身につけていくような仕掛けを作った。冊子リニューアル版「ちがさき市民活動団体ガイドブック」における「一言紹介」、団体相互の情報提供・交流ができるFacebook グループページ「ちがさき応援団」の開設、SNS 活用術やチラシ・広報紙づくり講座の開催に加え、「こどたん(こどもたいけん☆ワイワイまつり)」では未来のまちづくりを担う子どもたちと触れ合い、サポセン自身も伝える力をブラッシュアップする機会を得た。また「こどたん」は、市民活動への関心と参画を、子どもだけではなく親や祖父母世代に対しても促すことができた他、市民活動団体同士や市内事業者等の分野を超えたネットワークづくり、長期にボランティアとして運営に携わった中高生人材の育成においても意義ある事業となった。

年度当初、市民活動団体に行ったアンケートでは、会員の高齢化やボランティア活動に従事する人が減少している現状、活動場所や資金不足に関する課題が多く寄せられた。組織の形態や活動層、人々の活動への関わり方の変化など、市民活動支援の在り方そのものも見直す時期にきていることを踏まえ、これからの支援に必要なことは何か、より効果的な事業は何かについて探るべく、団体の個別聞き取り調査にも重点を置いた。

1. 施設の運営に関する業務

(1)ロッカーの使用の承認、取消し等に関する業務、利用料金の徴収、還付に関する業務

事務所を持たないNPO に対して、機材などの備品や書類保管のためにロッカーを貸出。

61 団体(大:18 団体、小:43 団体)稼働率 91%

(2)作業コーナーの管理運営に関する業務

パソコン、レーザープリンタ、コピー機、印刷機 2 台、紙折り機、丁合機等、機器類のメンテナンス、消耗品の管理を実施した。また、機器類の使い方指導やトラブル対応など、利用者へのサポートを行なった。

11 月に印刷機 1 台・コインベンダー、紙折り機の更新、12 月に貸出用リース PC5 台とレーザープリンタの更新、2 月にコピー機更新。貸出パソコンについてはリース会社との保守メンテナンス契約の他、IT スタッフによる定期メンテナンスを行った。

(3)ロッカー、レターケース利用団体宛のファックス及び郵便物の取り次ぎに関する業務

市民活動団体への郵便物・物資・情報等の仲介をした。89 件。

(4)職員体制に関する業務

グループウェア「サイボウズ Office」と「メールワイズ」を活用し日常業務の報告や連絡・伝達を行い、スタッフ間の情報共有を図ることができた。また毎月スタッフ会議と第 3 水曜日(休館日)スタッフ勉強会を実施し、市からの報告事項や主催事業の進捗状況の確認、企画の検討、施設運営の課題等について話し合いを行った。勉強会では、NPO の規約・定款、防災・危機管理、SDGs、協働、市民参加、地区ボラセン、プロボノ等についての学習、スタッフの交流促進をはかる「まわしよみ新聞」体験も行った。

その他、主催事業と施設管理業務に関して「事務分担表」を作成し、担当スタッフの業務範囲と責任を明らかにすることで、滞りなく、もれなく業務が進められるように、内部体制強化に努めた。

開催日	概要	参加人数
-----	----	------

7月13日(火)	NPOと行政の対話フォーラム@かながわ県民センター	1名
11月26日(月)	暴力団排除及び不当要求行為等対策研修会@市役所	2名
12月11日(火)	NPO法人消費税対策セミナー@東京ボランティア・市民活動センター	2名
2月6日(水)	「かながわの広域災害ボランティアを考えよう！」@かながわ県民センター	1名
3月9日(土)	平成30年度ボランティア団体成長支援事業『プロボノチャレンジ KANAGAWA2018』プロジェクト報告会@YCC 横浜創造都市センター	1名

(5)その他

サポセン内のコーヒー常設スタンド

市民活動団体「サンチャイ ねぱるぱ」がスタンドを常設。コーヒー1杯につきお米 1kgをネパールに寄付する活動を行っており、今年度は、団体全体で1000kg(1トン)のお米を届けることができた。(700kgは地震被害の大きかったスケコット村へ、300kgは違う村に届けることになった)

サポセン館内では402kg分の協力があり、3/30「こどたん」でもコーヒーとワークショップ参加費からの売上で168kg分の協力があった。(昨年は138kg。大幅に増えた理由は、サポセン利用者で定期的に購入してくれる人ができたことやこどたん来場者が多かったからとの報告があった)

パソコン等なんでも相談

4R(Reuse Reduce Recycle Repair)で地球環境保全維持を目指して活動している小関氏による「パソコン、オーディオ、玩具、なんでも相談(修理等)」が館内で毎週月・火の9:30~16:00、年94回開設され、のべ95名の利用者があった。利用者は主にパソコンの問題で訪れているが、CDラジカセの故障対応、会話を楽しみに繰り返し訪れる方もあった。サポセン備品の機器トラブル対応やイベントでのボランティア協力もしていただいた。

2. 広報に関する業務

(1)施設の周知啓発に関する業務

ア. ホームページ・SNSの作成及び管理運営

- ・(株)ボンドとは毎月ミーティングを行い、コンテンツの追加やデザインなどを検討しつつ、センターで変更できない部分を追加修正して頂いている。
- ・イベント・助成金等の情報アップや、主催事業の開催告知、報告、お知らせなど通常の情報更新はスタッフにより随時作業を行った。2019年3月末までに、団体イベント1,024件、助成金等52件、主催事業告知・報告35件の情報を提供。
- ・Twitter、Facebookではサポセン最新情報を提供。2019年4月15日現在のTwitterフォロワー数285、Facebookフォロワー数909と、昨年度比Twitter106%、Facebook102%と増加している。
- ・Facebookページの「茅ヶ崎サポセン」はフォロワーも微増ではあるが前記したように伸びている。今年度は新たにFacebookグループ「ちがさき市民応援団」を開設し、登録メンバーが自由にイベント情報などを発信できるようにした。登録メンバーも現在46名と順調に伸びている。

イ. サポートセンター情報紙の発行

- ・「ニューズレター」を年6回(各号1,800部)発行。
- ・市内公共施設ならびに館内配架の他、市民活動団体データベース登録団体、近隣自治体のボランティア支援施設、市内協力団体・個人・企業へ配布、ホームページに掲載。サポセンの取組みを紹介する資料として活用した。

	発行	内容
vol.59	5月	6月主催イベント告知、サポセン紹介(相談案内、事業のイベント・プログラムスケジュール)、事業報告(げんき基金事業決定)、お知らせ(春の市民まつりアンケート結果など)
vol.60	7月	8・9月主催イベント告知、特集(協働のまちづくりについて)、事業報告(利用者懇談会)、お知らせ(館内緊急避難経路 非常口及び消火器位置、ガイドブック冊子版発行予定など)
vol.61	9月	10・11月主催イベント告知、事業報告(ユースボランティア、こどもエコカフェ、ふらっとパル夏まつり出店、イーパーツリユース PC 寄贈プログラム)、お知らせ(市民活動の「イベント情報」などの情報発信中、げんき基金への寄付額、ふらっとパル紹介など)
vol.62	11月	12・1月主催イベント告知、事業報告(意見交換会、ボランティア塾、NPO 講座「市民活動のSNS活用術」)、お知らせ(歩いて楽しい茅ヶ崎のまちをノルディックウォーキングで体感しよう！など)
vol.63	1月	3月主催イベント告知、事業報告(居場所づくり交流会、NPO 講座「心をつかむチラシデザイン2」、NPO 講座「市民活動のはじめ方、イロハ」、歩いて楽しい茅ヶ崎のまちをノルディックウォーキングで体感しよう！)、お知らせ(読売国際協力賞受賞、市民のまなび講座など)
vol.64	3月	3～5月主催イベント告知、特集(SDGS×サポセン)、事業報告(NPO 講座「広報紙づくりのポイント」)、お知らせ(うみかぜテラス紹介、卒業コメント紹介など)

ウ. サポセン・市民活動の PR

- ・三つ折りパンフレットの改訂版を 5,000 部発行し、主催イベント時や公共施設等に配付した。
- ・茅ヶ崎市市政情報紙「進化」(2018 年 6 月 1 日発行)に、サポセン相談のインタビュー記事が掲載された。
- ・「春の市民まつり」「秋のふれあいまつり」に参加し、子ども向けクラフトやクイズなどを通してサポセン PR を行った。
- ・「タウンニュース茅ヶ崎版」など地域メディアにサポセン主催事業の情報を提供し掲載された。
- ・ジェイコム湘南の取材を受けて、防災イベント、「こどたん」が放映された。

(2) 市民活動団体の広報支援に関する業務

ア. 市民活動団体データベースの作成及び管理、それを基としたガイドブックの編集及び発行

ホームページへの情報掲載

- ・2017 年度から引き継いだガイドブックおよびホームページ掲載の団体のほか、ロッカー/レターケースのみを使用している団体も、市民活動団体データベースの登録団体とした。
- ・活動内容に新たな項目(「一言紹介」)を設定し、活動の情報をより分かりやすく発信できるようにした。
- ・冊子版ガイドブックは、今期から 2 年に 1 回の発行とし、2018 年度は掲載内容・レイアウトの見直しを図り発行した
- ・これらの変更にもない、データ管理アプリケーション(Access)をリニューアルし、一括管理できるよう設計し直して、業務の効率化をはかった(外部発注)。
- ・4 月下旬に登録団体へ団体情報の更新案内を郵送(変更有無に関わらず、返信を依頼)。返信のない団体には電話やメール、FAX 等でヒアリング。団体情報をとりまとめ、7 月末までに最終確認を行う。連絡の取れない団体や返信のない団体は、取消扱いとし、データベースから削除した。このことにより、主体的に情報発信する団体が把握できた。

- ・7 月末時点(更新業務完了時点)での団体数

登録数 365 件(うち、ロッカー/レターケースのみ使用の団体: 32 件)

取消数 52 件

・7～8 月、冊子版ガイドブックの掲載内容やレイアウト等の詳細を検討(団体情報をより見やすくするためレイアウトやフォントを変更、公共施設一覧や地域メディア情報連絡先一覧などを削除、表紙も団体の活動内容の写真を掲載するなど親しみやすさを考慮するなど)、外部発注(プリントパック)し、印刷・製本を行った(300 部)。9 月初旬に公共施設等に配布した(登録団体への配布は廃止し、希望のある団体にのみ手渡しとした)

・団体から新規・変更の届出の access 入力追加・修正が終了次第 Access データを csv に変換したデータと、画像データを送り一括変換してもらいデータを確認し、ホームページを変更した。

・年間を通して、新規登録団体および団体情報変更の申請を受け、随時 DB とホームページ Web 版ガイドブックを更新し、閲覧者へ最新の情報提供を行った。

・当年度 3 月末時点で登録数 369 団体、うち当年度の新規登録 52 団体(含 ロッカー・レターケースのみ使用の団体)、登録取消 56 団体。

・年間を通して、新規登録団体および団体情報変更の申請を受け、随時 DB とホームページ Web 版ガイドブックを更新し、閲覧者へ最新の情報提供を行った。

イ. 広報ちがさき「市民の活動だより」への掲載仲介

・広報ちがさき「市民の活動だより」へデータベース登録団体より毎月紹介し通算 11 団体を掲載。

ウ. FM 広報番組「はまかぜ ちがさき」への出演仲介

・レディオ湘南「はまかぜちがさき」内で、活動 PR する市民活動団体を通算 17 団体紹介。

エ. 情報(掲示物)コーナーにおける市民活動団体の掲示物の受付・掲示・管理、団体への情報提供

・データベース登録団体の機関紙やイベントチラシを中心に、市民活動に関するイベントや運営に役立つ講座、各種ボランティア講座、助成金情報などを整理して見やすく掲示した。

・広報ちがさきはじめ市主催のイベント、市民公募、パブリックコメント他刊行物、公共施設や他地区支援センターの広報紙やイベントチラシ等も手に取りやすいように平机とラックを活用して掲示した。

・神奈川新聞やタウンニュースなど地域紙で掲載された、市民活動や市に関する記事を切り抜きについては、曜日ごとに掲示した。(市民活動団体の年間メディア掲載件数:119 件)

館内掲示物の内訳

イベント 講座	広報紙 機関紙	会員・ ボランティア募集	補助金 助成金	地域紙	その他	合計
1,024	537	52	51	224	218	2,106 (前年比 97 %)

・データベース登録団体への情報提供については、ニューズレターやイベント案内など、奇数月 10 日ごろにゆうメールにて送付したことに加え、メール登録のある団体には、同様の内容をメールでも送信した。

3. 市民活動の支援及び市民活動推進に関する業務

(1). 市民活動に関する相談並びに連絡調整に関する業務

毎月 1 回(第 2 月曜日)、法人代表理事による特別相談日を設けて対応した。

- ・げんき基金補助事業や協働推進事業実施団体からは、チラシの作り方や広報の仕方、事業の進め方、報告書の作成など具体的な相談があり個別に伴走支援を行った。また、組織体制や企画の準備不足で申請を見送った団体からの相談も丁寧に対応した。
- ・その他市民活動団体からは、NPO 法人設立、定款変更手続き、予算の立て方、助成金、組織運営の在り方、事業企画の内容や進め方、効果的な広報、活動場所、会員・ボランティア人材の確保など、様々な内容の相談があった。
- ・個人の相談では、市の生涯現役応援窓口開設以来、シニア世代からの直接相談件数は少なくなっている。ボランティアをしたい中学生・高校生からの相談に対しては、その都度オリエンテーションを行い、サポセン事業「こどたん」やこども支援をしている団体等を紹介した。その一方で、中学生や高校生など若い世代のボランティアを探しているという相談が数件あり、通年でサポセンで活動する高校生や、ボランティア塾を実施している鶴嶺高校生に声をかけ、マッチングをした。
- ・市役所の空き家バンク、未来創造のためのアイデアソン参加者募集など、行政情報の提供を仲介した。
- ・その他、大学生の卒業研究支援、社会人ボランティアの活動に対する助言、外国人住民への子育て支援機関紹介、不用品の有効活用仲介、動物保護団体の紹介など行った。

相談・問合せの内容

カテゴリ	利用者の声	問合せ	相談	計
ア.施設・備品の利用	16	66	2	82
イ. サポセン主催事業	20	30	3	53
ウ. 市の施策(協働推進事業・げんき基金)	1	7	13	21
エ. ボランティア・市民活動	3	42	15	60
オ. 団体の運営(法人設立・組織運営)	0	2	10	12
カ. 団体の運営(活動資金・助成金)	1	1	4	6
キ. 団体の運営(活動場所)	1	0	4	5
ク. 団体の運営(ボランティア募集・人材確保)	0	1	3	4
ケ. 団体の運営(広報)	3	9	9	21
コ. 団体の運営(活動内容・事業企画)	2	7	11	20
サ. 団体の運営(会計・税務・労務・)	0	2	0	2
シ. 団体の運営(その他)	2	5	8	15
ス. 地域資源・情報のコーディネート	0	3	5	8
セ. 行政・企業・大学・他団体等との連携・協働	1	2	3	6
ソ. その他	15	49	18	82
合計	65	223	107	395

相談者の内訳

所属区分	利用者の声	問合せ	相談	計
市民活動団体	1	10	3	130
特定非営利活動法人(NPO 法人)	6	13	33	32
公益法人・非営利法人	1	7	5	13
行政	1	10	3	14

企業	1	4	7	12
学校	2	3	5	10
地縁団体(自治会など)	1	8	1	10
福祉関連機関	1	6	3	10
その他	3	10	5	18
個人	18	98	30	146

(2) 市民活動推進のための事業の実施に関する業務

ア. 市民活動推進及び市民活動団体育成のための講演会、講座等の実施(年4回以上)

(ア) NPO 講座の実施

市民活動団体のニーズが高い広報の仕方について「情報発信」、「チラシデザイン」、「広報紙」の3講座と市民活動のはじめ方や運営方法の講座の計4つの講座を開催した。

開催日	概要	参加人数
9月29日(土)	市民活動の SNS 活用術 市民団体の広報活動を、SNS を使ってより効果的に情報発信する方法について解説。 講師:山田泰久氏(NPO 法人 CANPAN センター代表理事)	20名
11月17日(土)	心をつかむチラシデザイン2 チラシデザイン講座第2弾。色づかいのコツや著作権・肖像権の基本について解説。 講師:大工原潤氏(認定 NPO 法人さいたま NPO センター理事)	28名
12月8日(土)	市民活動のはじめ方、運営のイロハ 市民活動のはじめ方や運営方法など分かりやすく解説。 講師:益永律子氏(認定 NPO 法人 NPO サポートちがさき代表理事)	25名
1月19日(土)	広報紙づくりのポイント 広報担当の方や紙面づくりに関心がある方むけに広報紙制作に関するノウハウを解説。 講師:山田高敬氏(株式会社タウンニュース社 茅ヶ崎編集室記者)	29名

イ. 市民活動団体の交流のためのイベントの実施(年1回以上)

(ア) 地域の居場所づくり交流会の実施

地域の居場所づくりに関心のある市民、居場所づくりを支援する立場にある自治体職員・福祉関係者等を対象に、市内外の様々なタイプの居場所の事例を紹介しながら、居場所運営の現状とノウハウ(課題含む)を学ぶ機会を提供した。

開催日	概要	参加人数
11月10日(土)	地域の居場所づくり交流会Ⅲ 市内外の居場所事例の発表自己紹介・感想の共有 牧野篤氏(東京大学教授)による講演、質疑応答 グループワーク(ワールドカフェ)・2ラウンド 全体会(グループから主な話題の報告)	30名

	牧野先生コメント ○講師・事例発表者 講師: 牧野篤氏(東京大学大学院教授) 事例発表者: 五味真紀(横浜市・カフェ「ハートフル・ポート」運営者)、佐藤和美(茶の間さとう)、内田勉(湘南アナログ・レコード館)、重田扶美子(フリースペースら・ぱれっと)	
--	---	--

(イ)「ちがさきサポセン☆ワイワイまつり」の実施

総合体育館を会場に約 3,800 人の来場者を迎えた。開催が学校の春休み期間でもあり、小学生を中心とした家族連れが多く来場し、51 の体験・飲食ブースにたくさんの笑顔を見ることができた。今回初めて臨んだイベントで、未来を担う子どもたちとその保護者に、様々な“あそび”や“ものづくり”の体験を通して、①地域や社会の課題と、それを解決しようと自ら進んで真剣に取り組む人たち(市民活動団体)の存在を知ってもらい、②地域や社会のための行動につなげるには、どうしたらよいか子どもたちひとり一人が考え、③地域の伝統や残したい文化などを伝え、④自分たちが暮らす茅ヶ崎のまちについて、再発見したり認識を新たにすることができたのではないかと感じられた。

各体験ブースは茅ヶ崎のまちをよりよくしようと活動する市民活動団体を中心に、地域の企業や飲食店、大学などが、楽しみながら参加できる福祉、スポーツ、ものづくりや昔遊びなどの様々な体験プログラムを企画・運営した。

事前の広報では、茅ヶ崎駅前ペディストリアンデッキとサポセン敷地内に幟旗を設置したり、自治会回覧を利用した各家庭へのチラシ回覧や、広報掲示板へのチラシを掲示した。その他にも参加団体へ希望枚数のチラシを配布して広報活動に役立ててもらったり、様々なメディア(紙面・WEB・ラジオ)を通じて広報活動を展開できた。

また、市内の中高生ボランティア複数人がサポセンに通い、イベント開催に向けての準備や当日の会場運営・撤収作業に多大な協力があつた。その他にサポセン主催の防災体験に、茅ヶ崎市ジュニアリーダーズクラブや進協メンバーや推進協 OG がボランティア参加し、一般市民からのボランティア協力者も数名あつた。

会場となった総合体育館の施設運営スタッフは、会場設営に必要な備品の借用や電源設備の配置など細々とした依頼にも配慮が行き届き、設備利用のアドバイスもあり当日のブース設営や撤収の作業がスムーズに行えた。

なお、飲食ブースで参加した市内事業者からは、げんき基金への寄付。その他の体験ブースからはスタンプラリーの景品に様々な寄付があり、とても助けられた。

開催日	概要	参加人数
11月9日(金) 11日(日)	募集要項&参加申込書配布開始(申込〆切12/16(金)) キックオフ交流会 11/9(金)18:00~20:00、11/11(日)10:00~12:00 開催	36名
1月26日(土)	場所&プログラム作戦会議 10:00~12:00、14:00~16:00	55名
3月30日(土)	こどたん 2019 開催 会場: 茅ヶ崎市総合体育館(第一体育室、柔剣道場、前庭) 内容: おもに小学生を対象に、だれでも参加できる手話カードづくりや視覚障害の誘導体験、木工作やデジタル工作、昔遊びのほか、さまざまなクラフト工作、自分のからだについてなどの学んだ。また、フラや音頭で楽しく踊ったり、ラグビーやバスケットなどスポーツの体験や防災ゲームなどを楽しみ、サポセンサテライトで社会貢献の意識を喚起するコーナーを設置。地元飲食店の模擬店や精密機器メーカーの出店もあり茅ヶ崎の事業を知る機会となった。	来場 約 3,800 名 参加・協力 51 団体 (初参加 13 団体)

ウ. 市民活動ネットワーク会議に関する業務

(ア) 市民活動ネットワーク会議への出席

近隣支援センターや関連機関との情報交換などから日常的な支援に役立てることができた。

開催日	概要	参加人数
4月11日(水)	平塚市市民活動推進委員会(平成30年度第1回)@ひらつか市民活動センター	1名
4月25日(水)	大和市市民活動推進補助金実施報告会@大和市勤労福祉会館	1名
5月19日(土)	平塚市協働事業審査会 平成29年度実施事業報告会@ひらつか市民活動センター	1名
6月5日(火)	JT2018年度NPO助成事業 助成金贈呈式&活動成果発表会@JT神奈川支社	1名
6月9日(土)	平塚市協働事業審査会 平成31年度実施事業意見交換会	1名
7月9日(水)	ボランティア活動支援施設 CEO ミーティング@かながわ県民活動サポートセンター	2名
7月11日(水)	平塚市市民活動推進委員会(平成30年度第2回)@ひらつか市民活動センター	1名
9月14日(金)	平塚市協働事業審査会 平成30年度事業中間ヒアリング@ひらつか市民活動センター	1名
9月14日(金)	NPO法人の会計支援に関する情報交換並びにNPO法人会計基準に関する所轄庁との意見交換会@神奈川県民ホール・会議室	2名
10月6日(土)	平塚市協働事業審査会 平成31年度実施提案型協働事業公開プレゼンテーション&審査会@ひらつか市民活動センター	1名
10月24日(水)	平塚市協働事業審査会 平成31年度実施提案型協働事業 事業化説明会@ひらつか市民活動センター	1名
11月11日(日)	未来茅ヶ崎市2018政策コンテスト@茅ヶ崎市役所	1名
11月12日(月)	休眠預金制度学習会@かながわ県民活動サポートセンター	1名
11月14日(水)	平塚市市民活動推進委員会(平成30年度第3回)@ひらつか市民活動センター	1名
11月20日(火)	ムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクト読売国際協力賞贈賞式@帝国ホテル	2名
11月21日(水)	NPO法施行20周年 記念フォーラム これからの市民社会20年を語る -地域、日本、そして世界から- @アルカディア市ヶ谷私学会館	1名
12月22日(土)	年末「冬の陣」茅ヶ崎研修会 相談支援&意思決定支援@茅ヶ崎市民文化会館	1名
2月4日(月)	神奈川人生100歳時代ネットワーク第一部会 カッコイイおとなプロジェクト@若葉台団地	1名
2月27日(水)	大和市市民活動推進補助金提案説明会@ペデルギウス	1名
3月9日(土)	大和市市民活動推進補助金公開プレゼンテーション@ペデルギウス	1名

3月13日(水)	茅ヶ崎市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会@農協ビル	1名
----------	---------------------------------	----

(イ)「かながわイーパーツリユースPC寄贈プログラム」の実施

・認定 NPO 法人イーパーツ協力のもと、団体所有の PC で情報収集や情報発信を積極的に行いたい市民活動団体へ、企業提供のリユース PC を寄贈して活動を支援するプログラム。県内 10 か所(藤沢・茅ヶ崎・小田原・大和・座間・平塚・綾瀬・相模原・鎌倉・逗子)の NPO 支援センターとイーパーツが管理運営団体となり実施。4月9日～6月29日で寄贈を希望する団体を募集した。茅ヶ崎からは「特定非営利活動法人ウェルフェアポート湘南」が申請。

今回は 10 か所の支援センター登録団体以外でも、県内の非営利活動団体を「その他の地域枠」として募集したところ、伊勢原の複数団体からの応募があり新たに伊勢原市民活動サポートセンターが参加。

・7月の審査会は WEB 上でつながる Skype オンライン会議を初めて試みた。この審査会を経て 44 団体へパソコン 50 台と液晶モニター 6 台の寄贈が決定した。

・寄贈式はさがみはら市民活動サポートセンターが開催担当となり、当日は事情により欠席だった団体にも Facebook Live で会場の様子をライブ配信し、団体交流イベントとも参加が可能となるなど、初めての試みだったが十分な準備のおかげでスムーズに実施できたことは大きな成果だった。

・本プログラムは、神奈川県内の市民活動状況について情報共有を図り、中間支援組織スタッフ間のつながり促進や IT スキルアップの機会となっている。

開催日	概要	参加数
8月25日(土)	第15回 寄贈式および寄贈団体向け情報セキュリティ講習会 場所：相模原市けやき会館2階(大研修室) 茅ヶ崎の市民活動団体へは1団体へ1台を寄贈	100名

エ. 若年層やシニア層をはじめ市民の市民活動への参画の促進

(ア)「ユースボランティア茅ヶ崎」の実施

中学生から大学生くらいを対象にボランティアきっかけ作りのプログラムを実施。(社福)茅ヶ崎市社会福祉協議会と共催で、新たな参加者を発掘し活動への関心を広めている。受入先は高齢者・障がい者・子ども福祉、子育て・保育、環境保全、地域安全、動物愛護、海外支援などにかかわる 21 団体。ボランティア体験から社会の一員としての意識と、参加者個人の成長を促し、地域社会の課題と向き合う市民活動の芽を育むことも目的としている。

開催日	概要	参加人数
7月13日(金)	オリエンテーション 場所:さがみ農協5階 大会議室	107名
7月14日(土)	場所:茅ヶ崎市民活動サポートセンター	
7月15日(日)～18日(水)	個別オリエンテーション 場所:サボセン、社会福祉協議会	20名
7月21日(土)～9月15日(土)	ボランティア体験期間(2日以上)の体験)	127名
8月23日(木)	カフェ de ボランティア 場所:茅ヶ崎市民活動サポートセンター	45名

(イ)「地域ボランティアエアポート」

・高校生のボランティア活動を支援する拠点としての役割を果たした。年間を通してボランティアの仲介・主催事業での受け入れをした。

・茅ヶ崎高校ボランティア同好会・茅ヶ崎西浜高校 JRC 部は毎月 1 回、およびサボセン主催事業でも受入れ。また、ボランティア塾後に体験を希望した鶴嶺高校生にも仲介を行った。

・県にボランティア情報をメールにて情報提供した(6月)

第 10 回かながわ子ども・子育て支援月間(県民局次世代育成部)に 8 月の支援月間中の関連企画について

開催日	概要	参加人数
月 1 回	茅ヶ崎高校ボランティア同好会、茅ヶ崎西浜高校 JRC 部、部活動の一環としてボランティア受入 鶴嶺高校のボランティア塾 DVD により、ボランティアについて学びを提供 (4/23、5/14、6/11、9/26、10/22、11/19、12/17、1/21、2/25、3/18、25、27)	13 名
主催事業時	ユースボランティアオリエンテーション(7/13、7/14)・カフェ de ボランティア(8/23)の準備・受付～片付け、市民まつり(4/22、11/3)のおもちゃづくりサポート、こどたんスタンプラリーなどの景品ほか作成など準備(3/25)当日の前庭受付・本部受付・景品交換所・こどまっふ運営サポート(3/30)	
随時	・高校生と団体・施設とのボランティア仲介 ・ボランティア塾 in 鶴嶺高校終了後、ボランティア希望生徒に 5 団体仲介	9 件 3 名
10 月 28 日(日)	チガサキハロウィン 2018～未来も笑顔のまち茅ヶ崎へ @柳島スポーツ公園 (主催：茅ヶ崎青年会議所)	3 名

(ウ)「ボランティア塾 in 鶴嶺高校」の実施(総合的な学習の支援)

課題を知り、自主的に活動を行う人との出会いやふれあいの中でボランティアについて理解する。活動している人の声を直に聞き、これまで他人事であった社会課題を自分のこととして捉えることができるようになる。生徒がボランティアや進路についてじっくり考える貴重な機会となった。

開催日	概要	参加人数
10 月 25 日(木)	「ボランティア塾 in 鶴嶺高校」1 年生総合学習の授業(講師派遣、仲介) ① 全体学習(同校体育館)。大学 5 年生(鶴嶺高校卒業生)によるボランティアや留学先での NGO 活動などで得た体験を PPT を使用し講演。ボランティア活動にとどまらず、夢を掴むための方法等について伝えた。 ②分科会(同校各教室等)。生徒が希望団体の講義・ワークショップを体験。各団体は活動への思いを伝えた。(市民活動団体 19 団体)	400 名

(エ)学生インターン・ボランティアの受入

市民活動を担う若年層の育成のため学生インターン・ボランティアの受入れを実施(前項(イ)をのぞく)。

- ・ユースボランティア:茅ヶ崎高校 3 年 2 名(8/17、26)第一中学校 2 年 1 名(8/13、14)
平塚市立江陽中学校 3 年名(8/4、12)
- ・生蘭高等専修学校 1 名(4/10)
- ・第一中学校 2 年 1 名(こどたん準備、当日 9/30、10/7、28、11/18、12/16、27、1/13、2/24、3/17、3/30)
- ・茅ヶ崎高校卒業生 1 名(大学 3 年)(こどたん前日準備ボランティア)
- ・茅ヶ崎高校卒業生 1 名(専門 1 年)(こどたん前日および当日ボランティア)
- ・鶴嶺高校 3 年 1 名(こどたん準備、当日ボランティア 11/11、1/28、2/18、3/16、3/30)
- ・湘南学園高校 2 年 1 名(こどたん準備、当日ボランティア 3/6、3/14、3/30)

(オ)生涯現役応援窓口との連携

- ・生きがい担当のふたりのセカンドライフコンシェルジュとは、折に触れ情報交換を行い、活動先の紹介など、連携して相談対応を行った。
- ・今年度は、シニア人材の経験や知識を、特に学習支援や学童保育、子ども食堂など、主に子ども子育て支援の活動に活かしてもらうための仕組みづくりのために、活動の現状やニーズの把握、マッチングの課題について意見交換をし(7月4日、8月23日)、その後の企画経営課主催事業、新しい大人世代セミナー「知っておきたいイマドキの孫世代との関わり方」(3月9日実施)の企画に反映させることができた。

(カ) 市民活動交流カフェ(よるカフェ)の実施

人が出会い、つながり、何かが生まれ。活動を始めるきっかけとなる交流の場。

今年度は、シニアから子ども達まで幅広い年代の参加があるようなカフェを実施し、活動のキッカケづくりや仲間づくりの交流カフェを開催した。

開催日	概要	参加人数
4月25日(水)	第21回よるカフェ団体企画 だれでも使える！かんたん iPad 講座 2018 講師:安岡伸氏(認定NPO 法人湘南ふじさわシニアネット)	20名
8月26日(日)	「こどもエコカフェ」 小学生対象、おひさまパワーを体験するワークショップ 協力:NPO法人ちがさき自然エネルギーネットワーク	19名
12月5日(水)	第22回よるカフェ 「歩いて楽しい茅ヶ崎のまちをノルデックウォーキングで体感しよう！」 コース:民話「河童徳利」発祥の地～「湘南タゲリ米」の生産地～小出川土手 協力:NPO法人アーバンデザインセンター・茅ヶ崎(UDCC)、湘南茅ヶ崎ノルディックウォーキング(SCNW)同好会	11名
3月10日(土)	第23回よるカフェ(3.11防災メモリアルカフェ2019) 「いつか来るその日のために、大災害をイメージしよう」 講師:内野義生さん(防災スイッチオン！プロジェクト代表) 寺島真弓さん(防災士/防災ウェブライター) 柿澤良昭さん(茅ヶ崎市職員)	36名

(4) 様々な活動主体との連携に関する業務

ア. 地縁団体(自治会等)との連携に関する業務

「イザ！カエルキャラバン！」実施の後方支援(連携に向けた事業実施)

2012年に茅ヶ崎で初めてサポートセンターの事業として開催後、市内の自治会・子ども会・推進協議会など地域の防災訓練として実施の後方支援をしてきた。今年度は地域に出向いての活動はなかったが、備品貸出で後方支援をした。

開催日	概要	備考
6月1日(金)	ツインウェイヴ北口ガーデンクラブ 場所:つつじ公園	備品貸出
12月16日(日)	kukuna マーケット	備品貸出

	場所:BRANCH 茅ヶ崎 2	
2月23日(土)	小和田小学校区青少年健全育成推進協議会「中学生と大人のつどい」 場所:赤羽根中学校	13名
3月23日(日)	ミナシア春まつり 場所:ミナシア集会所	備品貸出

「こどたん 2019」に防災クエストで出展、茅ヶ崎市ジュニアリーダーズクラブや進協メンバーや推進協 OG がボランティア参加した。

イ. 様々な主体との(企業、大学、公益法人等)連携に関する業務

①文教大学との定期連絡会

文教大学湘南キャンパス国際学部ボランティア委員会との情報交換を定期的を実施。

市民活動団体からのボランティア募集情報や、大学生が参加できるイベント情報を提供し、団体と大学生の活動を支援。(4/20、5/14、9/25、1/21 の日程で4回実施した)

また、昨年度から始まった「特別講義 G サービスラーニング」授業への協力では、昨年に引き続き学生の受入先となる団体を紹介し、サービスラーニング授業に関する団体への説明会を大学側と一緒に2回開催した。本年度はサポセンでのサービスラーニング希望は0名だった。

その他文教大学との連携事業

開催日	概要	参加人数
5月22日(火)	ボランティアだらけの大交流祭@文教大学	60名
6月15日(木)、 6月27日(火)	サービスラーニング受入れ団体への事前説明会@サポセン (参加団体:ウェルフェアポート湘南、三翠会、里山公園)	5名
10月30日(月)	文教大学特別講義 G「大学生の社会参加、地域課題への対応」について講義	6名
1月21日(月)	サービスラーニング報告会@文教大学	11名

②「ボランティア大学講座」への協力

6月13日(水)	ボランティア大学講座 「市民活動とサポセンの紹介」 場所:さがみ農協ビル5階大会議室 共催:茅ヶ崎ボランティア連絡会・茅ヶ崎市社会福祉協議会	福祉領域のボランティア活動 初心者	38名
----------	---	----------------------	-----

③「ちがさき健康づくり講座」への協力

11月6日(火)	ちがさき健康づくり講座 「市民活動について」	食生活改善推進員養成講座 受講生	28名
----------	---------------------------	---------------------	-----

④研修受入れ

7月29日(日) ～31日(火)	神奈川県教育委員会5年経験者研修 社会体験研修(3日間)	茅ヶ崎市立小出小学校教諭	1名
10月15日(月)	NPO活動体験派遣研修(5日間)	神奈川県福祉施設職員	1名

～20日(土) *17日(水)除く			
12月4日(火) ～8日(土)	NPO活動体験派遣研修(5日間)	神奈川県自動車税管理事務所 職員	1名

(5) 市民活動を推進する市の施策等の充実に関する業務

ア. 「協働」カフェの実施(協働推進事業の周知啓発)

今年度はカフェ形式のイベントは実施せず、市主催説明会について広報し、制度の理解を深めるため参加した。

開催日	概要
8月6日(月)	平成31年度実施 協働推進事業 制度説明会 場所: 茅ヶ崎市役所本庁舎 4階会議室

イ. 「市民活動団体等と行政の協働に向けた意見交換会」の実施

市民活動団体等と市職員が対等な立場で茅ヶ崎の様々な課題を共有し、協働推進事業実施への可能性を中心に、協力し合うことができる接点やそれぞれの立場でできることについて話し合った。

テーマごとにNPO法人 NPOサポートちがさきスタッフと市民自治推進課職員がコーディネーターを務めた。

【参加】市民活動団体等: 10団体 行政: のべ18市担当課

日	テーマ	市民活動団体等	行政担当課
9月6日(月)	茅ヶ崎市が行っている講座の動画配信	特定非営利活動法人 湘南ふじさわシニアネット	文化生涯学習課
	抗酸化食品(タマネギ外皮)を使用した 機能性食品の開発	ATOMの会	産業振興課、農業水産課
9月11日(火)	茅ヶ崎市のポータルサイト	特定非営利活動法人 湘南ふじさわシニアネット	秘書広報課
	国際交流サロン	茅ヶ崎市国際交流協会	男女共同参画課 学校教育指導課
	認知症予防のためのボールルーム ダンス(社交ダンス)	認知症予防のための社交 ダンス、リアンローズ	高齢福祉介護課
	湘南・茅ヶ崎サウンド&カルチャーの アーカイブ化	湘南ロックンロールセンター AGAIN	文化生涯学習課 社会教育課
9月14日(金)	「鑑賞サポーター」活動	NPO法人 赤ちゃんからの アートフレンドシップ協会	文化生涯学習課
9月19日(水)	乳がんになってしまった人へのサポート (ガーゼ帽子作りとおしゃべりサロン)	ガーゼ帽子を縫う会	地域保健課、健康増進課 市立病院患者支援センター
9月21日(金)	ミナスタ	小学5年生対象の夢、 創造、可能性をテーマに	学校教育指導課

		した授業プログラム	
	赤羽根十三区保全地区における共存 共栄のまちづくり	ツインウェイヴ北ロガーデン クラブ	市民自治推進課、 環境政策課、景観みどり課 松林公民館

ウ. 協働推進事業の実施、提案等を行う団体の支援

平成 30 年度実施団体や担当課に対しては、事業の進め方や広報活動に関する相談に随時応じた。

平成 31 年度実施に向けては行政からも市民活動団体からも新規提案がなく、継続事業に関して様々なアドバイスをを行った。また、市が主催する下記のイベントに積極的に参加した。

開催日	概要
6 月 3 日(日)	平成 29 年度実施 市民活動げんき基金補助事業・協働推進事業 実施報告会 場所: 茅ヶ崎市役所本庁舎 4 階会議室
12 月 1 日(土)	平成 31 年度実施 協働推進事業 公開プレゼンテーション 場所: 茅ヶ崎市役所本庁舎 4 階会議室

エ. 市民活動げんき基金補助事業の実施、提案等を行う団体の支援

平成 30 年度事業の実施団体に対しては、事業の進め方や広報活動、報告書作成等に関する相談に随時応じた。

平成 31 年度実施事業への申請希望団体に対しては、市民自治推進課による制度説明会開催時に、事業計画書作成ポイントについても説明し、個別に申請書の書き方や予算の立て方等アドバイスをを行った。

制度の見直しに向けては市民活動推進委員会に先立ち、いくつかの提案を行った。また今年度は市民自治推進課とともに、より多くの団体に制度を活用してもらい、書類作成をし易くするための資料(これから申請する団体向け参考資料「活用事例集(仮)」や、実施団体向け冊子「事業の進め方手引き」)作りに取り組んだ。

開催日	概要	参加団体
4 月 16 日(月)、 27 日(金)	平成 30 年度実施市民活動げんき基金補助事業 進め方説明会 採択事業を実施するにあたって、費用項目や領収書の書き方など注意事項について市民自治推進課より説明、サポセンから広報などのアドバイス。 場所: 茅ヶ崎市役所本庁舎 4 階	7 団体
12 月 11 日(火)、 12 月 21 日(金)、 25 日(火)	平成 31 年度実施市民活動げんき基金補助事業 伝わる！企画書作成会 企画書・申請書類の書き方を中心に、市民活動げんき基金の仕組み、公開プレゼンテーションの進め方などを説明。 場所: ちがさき市民活動サポートセンター	12 団体
2 月 26 日(火)、 3 月 1 日(金)、 4 日(月)、 14 日(木)	平成 30 年度実施市民活動げんき基金補助事業 報告書作成会 事業の実施報告書内容の書き方アドバイスや収支決算書の確認。 場所: 茅ヶ崎市役所本庁舎 4 階	6 団体

その他、制度に対する理解を深め、よりの確な支援を行うため、市が主催する下記のイベントに積極的に参加した。

開催日	概要
-----	----

6月3日(日)	平成29年度実施 市民活動げんき基金補助事業・協働推進事業 実施報告会 場所:茅ヶ崎市役所本庁舎4階会議室
3月16日(土)	平成31年度実施 市民活動げんき基金補助事業 公開ヒアリング/プレゼンテーション 場所:茅ヶ崎市役所本庁舎4階会議室

オ. げんき基金の周知啓発に関する業務、増額を図るための取り組み

げんき基金については、市民まつりや窓口カウンターなど、様々な場面でPRと募金活動を行った。
募金箱設置の際は、サポセンで収穫したラベンダーやゴーヤ、利用者からの花苗などの提供品を返礼品とした。
また、「こどたん」参加事業者には出店料をげんき基金への寄附としていただいた。

カ. 市職員への研修講座の実施、研修受入

4月11日(水)	新採用職員研修(前期)講座 「行政とNPOとの協働」	茅ヶ崎市職員	46名
11月6日(火) ～10日(土)	NPO 派遣研修(5日間)	茅ヶ崎市保険年金課職員	1名
12月4日(火) ～8日(土)	NPO 派遣研修(5日間)	茅ヶ崎市高齢福祉介護課職員	1名

(6) 市民活動の状況把握に関する業務

ア. 市民活動に関する情報収集及び提供に関する業務

(ア) 市民活動に関する図書を選定、購入及び管理

図書コーナー(本棚)脇の「新着図書紹介・雑誌コーナー」を運営した。
平成30年度新規購入図書:『農福連携の「里マチ」づくり』濱田健司著ほか15冊。
定期購入雑誌:『ソトコト』(木鐸社)、『ガバナンス』(ぎょうせい)、『ウォロ』(大阪ボランティア協会)、『ビックイシュー』(ビックイシュージャパン)

(イ) 市民活動団体、関係機関が発行する機関誌、市民活動に関する関係資料等の収集及び管理

利用者が団体を知る資料として、機関紙やチラシなどをファイルした市民活動団体メモリーファイルを分野別に掲示した。また関係資料についても閲覧できるように整理して掲示した。

イ. 市民活動の状況調査に関する業務

(ア) 市内における市民活動の状況調査及び分析

- ・目的:市民活動団体の現状と課題、及び、今後の団体への支援方策を探る目的で本調査を企画・実施した。
- ・調査対象:22 団体
- ・調査時期:2018年10月23日～2019年2月19日
- ・調査方法:市民活動団体の事務所及びサポートセンターにて聞き取り

団体名	活動分野	設立年	調査月日
特定非営利活動法人 ワーコレたんぼぼひろば	こどもの育成	2003	10月23日
茅ヶ崎地区自閉症児・者親の会	保健医療福祉	2001	10月25日

特定非営利活動法人パソコンボランティア湘南	情報化	2002	10月26日
きらきらぼし(子育て応援する会)	こどもの育成	1998	10月29日
ほっと茅ヶ崎準備室	まちづくり	1999	10月30日
茅ヶ崎ウィンドシンフォニー	文化・スポーツ	2001	11月3日
チームみつばち	環境	2011	11月12日
一般社団法人アステム湘南スポーツソサエティ	文化・スポーツ	2015	11月13日
行谷ツリフネソウ友の会	環境	2016	11月15日
茅ヶ崎の社会教育を考える会	社会教育	1976	11月16日
地域活動支援センター みらまーる	保健医療福祉	1994	11月19日
にじ色のたねを育てる会	人権	2017	11月22日
ちがぼ〜	こどもの育成	2005	11月25日
イーハトーブ湘南	保健医療福祉	2007	11月29日
地域のお茶の間研究所 さろんどて	まちづくり	2012	11月29日
ほのぼのビーチ茅ヶ崎	環境	1989	12月3日
ボランティア香川	保健医療福祉	1996	12月7日
こころのフリースペース ポレポレ・ちがさき	男女共同参画	2003	12月11日
茅ヶ崎 郷土会	社会教育	1953	12月26日
(特非)発達サポートネット バオバブの樹	こどもの育成	2010	2019年1月25日
「山田耕筰」と「赤とんぼ」を愛する会	文化・スポーツ	2002	2019年2月15日
茅ヶ崎市国際交流協会	国際協力	1984	2019年2月19日

(イ) 市民活動団体への活動状況調査及び分析

「市民活動団体ガイドブック」冊子の改訂版発行。内容考案のためアンケートを実施。冊子の発行や活用について参考になる意見が多くあったほか、広範な市民活動の動向を知ることができた。

調査対象：ちがさき市民活動ガイドブック掲載団体（373 団体）

実施時期：平成 30 年 4 月～6 月末

回収率：208 団体/373 団体（55.8%）

(ウ) 「ラベンダーカフェ(利用者懇談会)」の実施

6 月 17 日(日)開催、参加者 10 名。団体の手作り品や支援品の販売について場所、販路、広報などの情報交換。参加団体で商品開発のヒントや活動のキッカケになるような事例について話し合い。サポセン活用についても話しあった。

(7) 危機管理に関する業務

・防火管理、防災管理、建物管理などについて以下の内容を実施した。

実施日	内容	備考
4月6日(金)	火災予防上の定期自主検査実施	-
4月22日(火)	非常口の避難経路図作成・掲示(2箇所)	-

4月 22 日(火)	フリースペース非常口シール掲示	-
5 月 15 日(火)	消防用設備等定期自主検査実施	-
5 月 16 日(水)	スタッフ会議にて消防計画書を説明	12 名
5 月 29 日(火)	建物維持管理点検実施	-
6 月 6 日(水)	緊急時対応マニュアル修正・提出	-
6 月 10 日(日)	台風 5 号対策土嚢設置	2 名
7 月 24 日(火)	ブロック塀の安全点検実施	-
7 月 26 日(木)	消防用設備点検実施(平和防災㈱)	-
7 月 28 日(土)	台風 12 号接近のため夜間臨時休館	-
9 月 5 日(水)	かながわシェイクアウト(利用者・職員対象)一斉防災行動訓練実施	19 名
10 月 3 日(水)	AED 講習会申込書消防指導課へ提出(ただし諸事情により講習会中止)	-
11 月 19 日(月)	訓練実施計画書を消防本部予防課に提出	-
11 月 21 日(水)	消防訓練・防災訓練(防災倉庫確認)を実施	9 名
11 月 26 日(月)	暴力団排除及び不当要求行為等対策研修会参加	1 名
11 月 27 日(火)	訓練実施結果報告書を消防本部予防課へ提出。	-
11 月 29 日(木)	建物維持管理点検実施	-
1 月 11 日(金)	緊急連絡網更新	-
1 月 21 日(月)	消防用設備点検実施(平和防災㈱)	-
1 月 23 日(水)	普通救命講習会申込書消防指導課へ提出(8/21 実施予定)	-
1 月 27 日(月)	非常灯設置工事(6 ヲ所)	-
3 月 14 日(木)	MCA 無線機交換、番号変更	-
3 月 10 日(土)	防災カフェ「いつか来るその日のために、大災害をイメージしよう」開催	34 名
3 月 30 日(土)	こどたんの中で「防災クエスト」実施	-

(8) 施設等の維持管理に関する業務

建物付属設備については定期保守点検を行い、故障・不具合があった場合は速やかに修繕を行った。また四半期ごとに指定管理業務実地調査が行われ、おおむね優良であることが確認された。

駐車場トラロープ張替・ブラインド修理(4 月)、解散した NPO 法人から事務用品の寄付受取(5 月)、館内照明 3 箇所修理(11 月)、館内非常灯設置(1 月)

花壇と夏場の緑のカーテン、施設まわりの手入れに関しては、一年を通してサポセンボランティア「さくら草の会」の協力を得ている。植栽デザインから土づくり、植付、適切な施肥と除草により、四季折々の草花が道行く人々の目を楽しませ、サポセンの顔として好評を得ている。夏にはラベンダーやゴーヤを利用者と分かち合い、今年も募金を「げんき基金」に 39,193 円を寄付した。

(9) 経営管理に関する業務

年間事業報告書を作成した他、毎月、利用統計表、業務報告書、事業スケジュールの進捗状況一覧、利用者の声・問合せ・相談内容一覧を作成し、市民自治推進課に報告した。また月初めに館内の利用状況をグラフにして掲示した。

(10)その他の業務

ア. 視察対応に関する業務

他市からの行政・議会等の視察に対する施設内外の案内及び説明。

9月21日(金)	サポセンHP、ユースボランティアについて情報交換	秦野市市民活動サポートセンター、秦野市市民活動支援課	3名
----------	--------------------------	----------------------------	----

イ. 環境への配慮

- ・キャノピースイッチによる不要な照明の消灯など利用者と共に節電に努めた。
- ・市民立太陽光発電所(れんこちゃん1号)については、NPO法人ちがさき自然エネルギーネットワークより定期的に使用電気量の報告を受け取った。今年度は、自家消費分等にあたる101,829円を同法人に支払った。
- ・古紙の再利用や使用済みインクカートリッジのリサイクル活動に協力。
- ・主催事業時には、できる限り紙コップや紙皿など使い捨て容器を使用せず、また利用者にゴミの持ち帰り協力を求めるなど、ゴミの発生抑制に努めた。

ウ. ふれジョブ活動の受入

支援の必要な子どもが職場体験をすることで自ら学ぶとともに、みなが共に助け合うことのできる社会を創る活動として、毎週土曜日に1時間(10時から11時)、学齢期の子どもたちの活動を受け入れた。原則、6か月間の活動であるが、2日間の「ミニふれ」も柔軟に受けた。

月 日	所属 学年	人数
8月27日 8月28日(ミニふれ)	茅ヶ崎養護学校子高等部1年生女子	1名
9月14日 9月17日(ミニふれ)	横浜市内高等専修学校生1年生男子	1名
10月21日 10月30日(ミニふれ)	藤沢市内私立高校2年生男子	1名
12月～3月(5月終了予定)	横浜市内私立高校生1年生男子	1名

エ. 企業の社会貢献活動の仲介

明治ホールディングス(株)及び同社株主より、社会貢献活動の一環として明治グループの製品(お菓子)の寄贈の申し出があり、障害のある子ども対象の活動として「地域のお茶の間研究所さろんどて」、災害支援をしている「ちがけせんプロジェクト」を推薦し、12月4日にお菓子の受け取りを仲介した。

茅ヶ崎市民活動サポートセンターの指定管理者(4期目)となり、センターの管理運営と合わせて法人の様々な事業をスタートさせた。

2. コミュニティ形成を支援する事業

(1) まちスポ×さぼちが連携事業

年間 8 回、会議を開催した。(4/19、5/15、7/27、9/20、10/26、11/30、3/22)

NPO 法人まちづくりスポット茅ヶ崎(以下、「まちスポ」という。)と、当法人(さぼちが)からなる会議体「まちスポ×さぼちが連携会議」は 2 年目を迎えて、前半は、まちスポの認定 NPO 法人化の後方支援、後半は、くらしの足を地域で支える「おでかけ支援」を中心に情報交換を行った。

1. まちスポ認定 NPO 法人化に向けた後方支援

・昨年度、協議した「まちスポ規程」は 4 月から運用。未整備規程の進捗を確認し、寄付規程・事務分担を作成。

・6 月 27 日、認定 NPO 法人としての適合性を確認する実地調査を受けるために、さぼちが事務局長が模擬調査を行い、2 回の実地調査(7 月と 8 月)に向けたロードマップを作成した。

・7 月 24 日、第 1 回実地調査(総勘定元帳チェック)、8 月 7 日、第 2 回に向けた準備を行った。

・10 月 26 日の会議で、9 月 27 日に認定 NPO 法人、9 月 28 日に市指定 NPO 法人となった報告がなされた。

2. 茅ヶ崎市南西部のくらしの足を地域で支える「おでかけ支援」

神奈川県からの情報提供により、まちスポとさぼちがは、県共生社会仕組みづくり事業関係市町打合せ(11/8、12/20、1/23、3/14)の構成メンバーとなった。

お出かけ支援の先進事例、大和「のりあい」、菊名「おでかけバス」の取り組みについて情報を共有した。

この他、まちスポの消費税に関する事など実務的な相談にも対応した。

(1) -2 ライドシェア(くらしの足を地域で支える「おでかけ支援」)

5 月、県の「地域共生社会の実現に向けた地域課題ヒアリング」で市南西部の外出支援の必要性が顕在化。

1. 2019 年度から神奈川県が実施予定の共生社会仕組みづくりのためのモデル事業

提案に備えて、7 月から半年にわたり調査・研究して蓄えてきた知識やネットワークが活かさないまま事業そのものが保留になった。しかし、交通手段がない人が置き去りにされないように、地域の気運が高まった際に、自助、共助の力が発揮できるように支援力を高めておきたい。

2. 「ライドシェア事業」プレ調査検討会議

11 月から 2 月末まで、まちスポが県の委託事業として実施する*「共生社会推進地域調査」に協力して、10 月の準備会から 3 月まで、アンケートの調査内容、スケジュール、集計結果を共有した。調査結果では、日常生活で不便や困ることでは、「将来が心配」と「たまに困る」を合わせると 50%。さらなる調査が必要と思われる。

*この調査は、湘南地区まちぢから協議会、茅ヶ崎市社会福祉協議会、茅ヶ崎市市民自治推進課、高齢福祉介護課、まちスポ、さぼちがが、参加し、プレ調査を行うことを通じて、次年度に向けた地域ニーズや課題を掘り起こすと共に次年度以降の事業推進体制の検討を行うことを目的とする。

3. 県共生社会仕組みづくり事業関係市町等打合せ

11 月から 3 月まで、4 回の打ち合わせに出席して、お出かけ支援の「担い手研修(移動支援・外出支援)」、「菊名おでかけバス」、「瀬戸市菱野団地・住民バス運行」、「”互助”による運送と地域支援事業-事故対応と保険の知識」などの情報を入手できた。また、事業実施予定 5 地域の取り組みも参考になった。

(2) コミュニティ・コンシェルジュ

「ジオ茅ヶ崎フレシア」におけるコミュニティ形成の支援として、クリスマスイベントに関する相談があり、企画立案、運営に協力した。次年度の取り組みについても、参考情報を提供した。

クリスマス会

日 時 12月24日(月・祝)

場 所 ジオ茅ヶ崎フレシア・エントランスホール

参加者 こども25名、おとな15名

講 師 高橋源治氏(おはなしおじさん)、高橋一明氏(まなびの市民講師)

内 容 絵本の読み聞かせ&ぶるぶるサンタづくり

(3) 余暇支援ネットワーク

茅ヶ崎・寒川地区で暮らしている障がいのある人の余暇活動を、地域で支援するネットワークメンバーとして、障がいのあるなしにかかわらず、みんな一緒に音楽やショーを楽しむ恒例の音楽祭を企画・運営した。

「キラキラちゃんぶる音楽祭」

日 時 10月20日(土)

場 所 神奈川県立茅ヶ崎養護学校体育館

3. 協働によるまちづくり推進事業

(1) 企業とNPOのマッチング

今年度は特に実施しなかった。

(2) 食から未来へ勉強会

外部協力者はそれぞれ高い知見を有しており、外部協力者を講師として勉強会を開催した。メンバー以外の参加も歓迎。NPOサポートちがさきからの情報発信に注力した。

第1回 サロン

日 時:4月12日(木) リベンデル

参加者:24名

講 師:熊澤弘之氏(コミュニティ農園「RIVENDEL」代表)、熊澤茂吉氏(熊澤酒造代表取締役)

テーマ: ~食から未来へ~『発酵文化から地域を考える』

第2回 サロン

日 時:10月11日(木) 濱時間

参加者:19名

ゲスト:岩澤裕基氏(「濱時間」代表)、熊澤弘之氏(コミュニティ農園「RIVENDEL」代表)

テーマ:食から未来へ「和の文化から地域を考える」

第3回 サロン

日 時:1月17日(木)男女共同参画推進センターいこりあ

参加者:15名

講 師:岩井達氏 文教大学健康栄養学部准教授、井上節子氏 文教大学健康栄養学部教授

テーマ:ちがさき食から未来へ「文教大学健康栄養学部「ATOMの会」と交流しよう」

(3) 商店街賑わい創出勉強会

商店会加盟店店主の高齢化が進む中で、空き店舗が増え、商店街利用者も減少傾向にある。こうした傾向に歯止めをかけ、再び商店街に賑わいを創出するためには、商店会の現状改善に意欲を持つ関係者の輪を広げることが急務である。そこで、現状に危機感を持つ店主を中心に、行政や企業にも参加を呼びかけ勉強会を開催することを通じて、関係者のネットワークづくりを推進した。

1、異業種楽習会先進事例視察

- ・日 時:6月27日(水) 11時～13時30分
- ・場 所:「ファール ニエンテ」(〒245-0016 神奈川県横浜市泉区和泉町 1011-1)
- ・参加者:10名
- ・内 容:ファール ニエンテ概要説明((社福)開く会萩原常務理事より)と現地視察

2、異業種楽習会

- ・日 時:12月20日(木) 19時～21時
- ・場 所:茅ヶ崎市民文化会館第1会議室
- ・講師:濱田 健司氏<(一社)JA総合研究所研究員>
- ・参加者:35名

4. 行政・他機関への委員会委嘱等の協力 [事務局]

派遣等

かながわ人生100歳時代ネットワーク (年1回)
茅ヶ崎市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会 (年1回)
茅ヶ崎市行政改革推進委員会 (年1回)
社会福祉法人翔の会理事会 (年5回)
社会福祉法人翔の会運営会議 (年1回)
茅ヶ崎市総合計画審議会委員 (年4回)
茅ヶ崎市生活支援体制整備事業 第1層協議体委員 (年2回)
茅ヶ崎市生活支援体制整備事業第2層説明会・報告会 (年2回)

他セクターとの連携等

国際ソロプチミスト茅ヶ崎 2018年度「社会ボランティア賞」に ツインウェーブ北口ガーデンクラブを推薦 4月18日(水)
公益社団法人茅ヶ崎青年会議所創立20周年記念式典 12月2日(日)
茅ヶ崎商工会議所賀詞交歓会 1月8日(火)
公益社団法人茅ヶ崎青年会議所新年式典 1月10日(木)
文教大学健康栄養学部笠岡ゼミ活動報告会 1月16日(水)

後援・協賛等

第8回ローカルファーストシンポジウム 10月18日(水)
「新しいライフスタイルを実現 茅ヶ崎資本主義」後援
「キャンドルナイト茅ヶ崎2018」12月8日(土) キャンドルホルダーとして協賛

その他

(1)会員向け情報紙「ハーモニー」の発行

5月、8月、11月、3月(4回発行)

会員やサポートセンターの職員からの寄稿により親睦を深めることができた。また、“さぼちが”の自主事業や認定NPO法人取得に向けた経過を報告し、情報共有を図った。

(2)仲間づくり部活動@RIVENDEL

志を同じくする人たちが、コミュニティ農園「RIVENDEL」の利用また、同好会活動などを通し、参加者相互の親睦を深めるための活動を行った。

日時	参加者	内 容
5月31日(木) 12時～14時30分	9名	ごはん会 メニュー:牛すじ肉のカレー、フレッシュサラダ、ピクルスなど
4月13日(金) 10時～12時	6名	わくわくウォーキング 1回目:氷室椿庭園から海岸茅ヶ崎漁港へ
5月11日(金) 10時～12時	4名	2回目:堤坂下～市民の森～清水谷 (緑地特別保全地区に指定)一周
11月20日(火) 15時～17時	8名	一品持ち寄りまったりカフェ ティーパーティ&おつまみと利き酒を楽しむ

(3)情報発信

ホームページに法人の基本データの公開、毎年度の事業報告、会計報告、貸借対照表の掲載。
法人基本情報の更新。

(4)自主推進会議

新しくスタートした事業の進捗状況確認と、意見交換。

会議 全6回開催 参加者7名

法 人 運 営

1. 通常総会

2018年度通常総会

日 時: 平成30年(2018年)5月16日(水) 16:00～17:00

会 場: 茅ヶ崎市民活動サポートセンター

出席者数: 出席18名、委任状提出13名、合計31名(正会員総数42名、過半数が出席)

議 事: 第1号議案 平成29年度(2017年度)事業報告の承認

第2号議案 平成29年度(2017年度)収支決算の承認

第3号議案 平成30年度(2018年度)活動計画の基本方針及び事業計画の審議・決定

第4号議案 平成30年度(2018年度)収支予算の審議・決定

第5号議案 役員の選任

第6号議案 組織図の変更

全ての議案は原案通り、全会一致で可決承認された。

2. 理事会

- 4月11日(水) 役員選挙結果及び総会審議事項について
- 5月9日(水) 2017年度決算及び2018年度事業計画、予算書について
- 5月21日(月) 代表理事及び常務理事の互選について
- 8月8日(水) 乗り合い交通、地域課題について
- 11月14日(水) 最低賃金改訂による賃金引上げについて
- 2月13日(水) 「お出掛け支援」を通じた共生社会仕組みづくり事業について
- 3月13日(水) 2019年度事業計画について

3. 運営会議

年間12回、毎月開催 参加者12名

事業の進捗、会計報告等サポートセンターの管理運営に関する事項および自主事業推進についての意見交換を行った。

4. 県指定NPO法人更新手続き

平成30年8月1日付け神奈川県指定特定非営利活動法人として指定された旨の通知書受取

服部信明市長を偲ぶ

2018年10月4日、服部信明茅ヶ崎市長が逝去されました。2003年4月、茅ヶ崎市の新市長となった服部信明氏は、「民の力」を活かしてまちづくりを進めることで、厳しい時代をのりきり、そのための仕組みづくり、市民と行政の「共働」を宣言されました。「一緒に考え、共に行動する」を実践された服部市長に、哀悼の意を表します。

服部信明市長と市民活動団体との懇親会

さる7月18日午後6時から茅ヶ崎市民活動サポートセンターで市長と市民活動団体との懇話会を開催しました。出席した11分野、55市民活動団体の代表は1分間のリリーススピーチで活動を紹介し、提言や熱い思いを市長に直接アピールしました。この会場の熱気に市長は一言、「すごい」とストレートに感動を表現。懇話会には約160名の人々が参加しました。

意見交換の中で、服部市長は「行政で補いきれないところは皆さんに助けてほしい。皆さんの力や知恵を是非お貸しいただきたい」ときわめて率直に協力を要請されました。同時に行政側の取り組み姿勢については、市民の皆さん「協働」していくという職員の意識への徹底を図ってゆきたいと、決意を述べられました。市長は「今日この場でみなさんの声を聞き、心強く思い、頑張ろうという気持ちを強くした。市民の皆様からの一層の協力をいただきたい」と今後の行政への協力を繰り返し要請されました。出席された方々も茅ヶ崎市の進むべき方向を共に共有できたように感じられたようです。

News Letter Chigasaki さぼせん 第2号 2003年8月1日発行より 抜粋

以上